



インフルエンザワクチン接種について

当院でのインフルエンザワクチン接種は、令和4年10月11日（火）～令和5年1月31日（木）の期間で、火曜日から金曜日に受診時又は予約制により実施しています。定期受診をされている方で、受診時に接種を希望される方は、受診される際受付で“接種を希望”とお話ください。

料金（消費税込）

一般	：4,200円
60歳～64歳の身障1級者 身体障害者手帳の写し	：無料（※）
65歳以上の高齢者	：無料（※）
65歳以上の生活保護者 生活保護受給証明書を予診票に添付必要 (対象年齢基準日はワクチン接種日とする)	：無料（※）



新型コロナウイルスワクチン接種について

当院での新型コロナウイルスワクチン接種は、火曜日から金曜日（祝日を除く）に予約制により実施しています。

11月8日（火）より、接種するワクチンはオミクロン株(BA5)対応ワクチンとなります。

当院では土曜日にも終日外来診療を行っております。ご利用ください。

診療受付時間

月曜～土曜 AM8:30～11:30 PM1:00～4:00

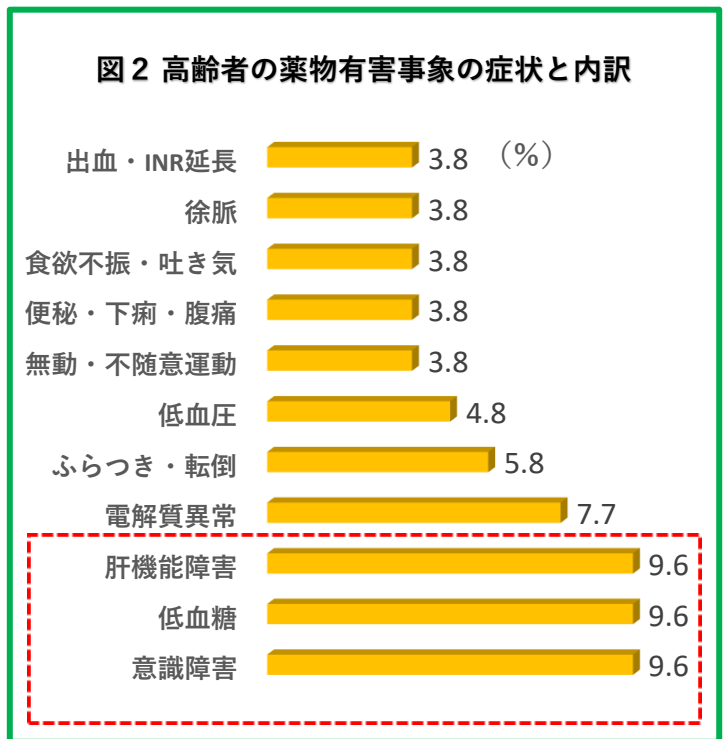
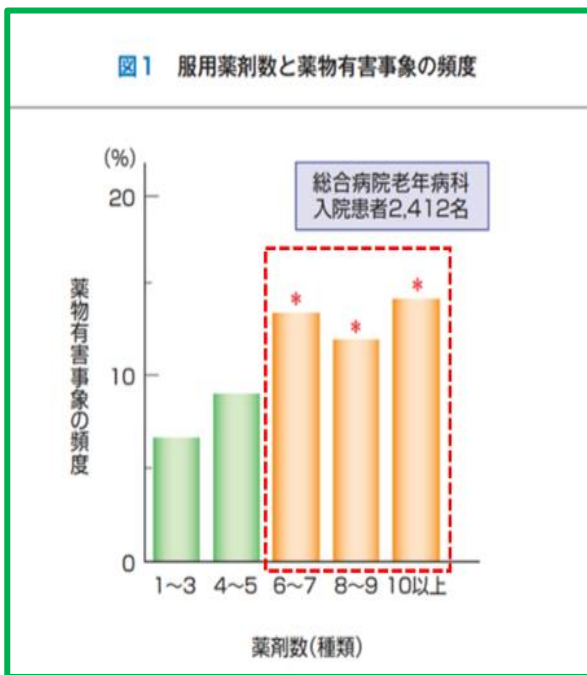
「ポリファーマシー」について

「ポリファーマシー」という言葉をテレビや新聞で、耳にしたり見かけたりするようになりました。「ポリ」(poly=多くの)「ファーマシー」(pharmacy=薬局・調剤)を組み合わせた造語です。

「ポリファーマシー」とは、単に多くのお薬を飲んでいることではありません。「ポリファーマシー」とは、飲んでいるお薬が多くなるにつれて、有害事象(薬の使用後に発生する有害な症状で、薬との関連を問わない事象)の増加(図1)、薬の飲み間違いや患者さんの薬の服用低下等の問題につながる状態のことです。

飲み薬が増えると、飲み合わせなどや飲み方の異なるお薬などによる飲み間違いなどで有害事象がでてくるリスクもあります(図2)。飲み薬が増えてしまうのは症状は無いが薬を続けて服用している、新たな症状のために、新たな医療機関や診療科に受診したためなど、様々な原因で増えてしまうことがあります。

* 6剤以上の服用で有害事象の発生が上昇



ポリファーマシーの対策として、考えられることは、

- ・かかりつけ医・かかりつけ薬局を持ちましょう
- ・診察時・薬局では「お薬手帳」を見せましょう
(複数の薬局を利用している時は、お薬手帳は1冊にまとめましょう)
- ・飲み合わせやお薬のことで気になる時は、医師・薬剤師に相談しましょう
- ・処方された薬を自己判断で中断することは、絶対に避けましょう

(参照：日本ジェネリック製薬協会ホームページ)

